

小沢昭一

話にぞく花



舌耕というなりわいの蜷汁



菱哲



文春文庫

はなし はな
話 に さ く 花

定価はカバーに
表示してあります

2000年3月10日 第1刷

著 者 お ざわしよういち
 小沢昭一

発行者 白川浩司

発行所 株式会社 文藝春秋

東京都千代田区紀尾井町3-23 〒102-8008

TEL 03・3265・1211

落丁、乱丁本は、お手数ですが小社営業部宛お送り下さい。送料小社負担でお取替致します。

印刷・凸版印刷 製本・加藤製本

Printed in Japan
ISBN4-16-717506-1

¥476-

た史発掘
戦争を知っている子供たち

加藤 仁定 年百景

金子信雄 金子信雄の楽しい夕食

金子信雄 続・金子信雄の楽しい夕食

上坂冬子 何とかしなくちゃ

上坂冬子 男装の麗人・川島芳子伝

上坂冬子 貝になった男

直江津捕虜收容所事件

上坂冬子 宰相夫人の昭和史

上坂冬子
おばあちゃんのユタ日報

續・外國遠足日記帖

上坂冬子 生き残った人びと上・下

上坂冬子 硫黄島いまだ玉砕せず

上坂冬子 時代に挑戦した女たち

鴨下信一 忘れられた名文たち

川島勝井伏鱒二

サヨナラダケガ人生

北島 行徳

無敵のハンディキャップ
障害者が「プロレスラー」になった日

木下 順二

ぜんぶ馬の話

木村 尚三郎

パ
世界の都市の物語

木村 治美

黄昏のロンドンから

木村 治美

静かに流れよテムズ川

木村 治美

主婦の天気図

木村 治美

イギリス交際考

木村 治美

エッセイを書きたいあなたに

木村 義雄

ある勝負師の生涯
将棋二代

桐島 洋子

淋しいアメリカ人

桐島 洋子

マザー・グースと三匹の子豚たち

桐島 洋子

貴方にもこの潮風を樹の匂いを

桐島 洋子

男ざかりの美学

桐島 洋子

大草原に潮騒が聴える

桐島 洋子

聡明な女は料理がうまい

桐島 洋子

渚と漣と
ながさ みお わが愛の航海記

楠田 枝里子

ナスカ砂の王国
地上絵の謎を追ったマリア・ライへの生涯

楠田 枝里子

飛んだ旅行記

楠本 憲吉

俳句入門

久世 光彦

怖い絵

久世 光彦

マイ・ラスト・ソング
あなたは最後に何を聴きたいか

工藤 久代

ワルシヤワ猫物語

「江川番記者」

江川つてヤツは……

「CREA」編

あなたの恋でいいですか。

「CREA」編

女の転機 100

黒沼 克史

援助交際 際

桑井 いね	おばあさんの知恵袋
桑井 いね	続おばあさんの知恵袋
軍司 貞則	ナベプロ帝国の興亡
軍司 貞則	滅びのチター師 「第三の男」とアントン・カラス
源田 實	海軍航空隊始末記
源田 實	海軍航空隊、発進
源田 實	真珠湾作戦回顧録
現代言語セミナー	漢字王 日本語面白クイズ
小池 滋	ロンドン 世界の都市の物語
小泉 信三	海軍主計大尉小泉信吉
神足 裕司	いきなりクルマ上手
小坂 秀二	大相撲ちよつといい話
児島 襄	指揮官上・下

児島 襄	参謀上・下
児島 襄	戦艦大和上・下
児島 襄	史説山下奉文
児島 襄	天皇家全五冊
児島 襄	満州帝国全三冊
児島 襄	朝鮮戦争全三冊
児島 襄	大山巖全四冊
児島 襄	史録日本国憲法
児島 襄	素顔のリーダー ナポレオンから東條英機まで
児島 襄	日本占領全三冊
児島 襄	日中戦争全五冊
児島 襄	誤算の論理
児島 襄	天皇と戦争責任

268771

文春文庫 ノンフィク

I313.65

J3185

駒田信二	小堀桂一郎	小林恵子	小林恵子	小林秀雄	小林信彦	小林信彦	小林信彦	小林隆峻	西	西	西	西
漢詩名句はなしの話	宰相鈴木貫太郎	二つの顔の大王 （倭国・謎の継体王朝と韓三国の英雄たち）	聖徳太子の正体	考えるヒント1〜4	〈超〉読書法	本は寝ころんで	回想の江戸川乱歩	ス・パ・イ・M	昭和16年12月8日	昭和16年12月8日	昭和16年12月8日	昭和16年12月8日
									昭	昭	昭	昭
									和	和	和	和
									の失速全八冊	の失速全八冊	の失速全八冊	の失速全八冊
									大正時代とシベリア出兵	大正時代とシベリア出兵	大正時代とシベリア出兵	大正時代とシベリア出兵
									日米開戦・ハワイ大空襲に至る道	日米開戦・ハワイ大空襲に至る道	日米開戦・ハワイ大空襲に至る道	日米開戦・ハワイ大空襲に至る道

第二次世界大戦

ヒトラーの戦い全十冊

日露戦争全八冊

平和の失速全八冊

昭和16年12月8日

ス・パ・イ・M

回想の江戸川乱歩

本は寝ころんで

〈超〉読書法

考えるヒント1〜4

聖徳太子の正体

二つの顔の大王（倭国・謎の継体王朝と韓三国の英雄たち）

宰相鈴木貫太郎

漢詩名句はなしの話

近藤紘一	近藤紘一	近藤紘一	近藤紘一	近藤紘一	近藤紘一	今東光	五味川純平	五味川純平	駒田信二	駒田信二	駒田信二	駒田信二
目撃者	妻と娘の国へ行った特派員	パリへ行った妻と娘	バンコクの妻と娘	サイゴンから来た妻と娘	サイゴンのいちばん長い日	毒舌日本史	「神話」の崩壊	ガダルカナル	漢字読み書きばなし	中国古典散步	艶笑いろはかるた	世界の悪女たち

近藤紘一全軌跡1971〜1986より

近藤 誠	それでもがん検診うけますか
齊藤 勇	心理ゲーム恋愛編
齊藤 勇	心理ゲーム愛情編
柴門 ふみ	サイモン じもん 印
酒井 順子	たのしい・わるくち
堺屋 太一	豊国論 日本の未来のために
堺屋 太一	「新 都」建設 これしかない日本の未来
阪田 寛夫	おお 宝塚!
さだ まさし	嘶 歌 集 V
佐々 淳行	目黒警察署物語 佐々警部補パトリール日記
佐々 淳行	東大落城 安田講堂攻防七十二時間
佐々 淳行	美人女優と前科七犯 佐々警部補パトリール日記Ⅱ
佐々 淳行	謎の独裁者・金正日 テポドン・誤報・テロ・拉致

佐々 淳行	連合赤軍「あさま山荘」事件
佐藤 愛子	我が老後
佐藤 愛子	なんでこうなるの
佐藤 清彦	おなら考
佐藤 隆介編	池波正太郎・鬼平料理帳
佐野 真一	遠い「山びこ」 ―無着成恭と教え子たちの四十年―
佐橋 慶女	おばあさんの引出し
佐橋 慶女	外国のおばあさんの引出し
佐橋 慶女	おじいさんの台所 父・83歳からのひとり暮らし特訓
佐橋 慶女	おじいさんの台所二年目
佐橋 慶女	「おじいさんの台所」の死 ひとり暮らし7年間
猿谷 要	ニューヨーク 世界の都市の物語

挑む女

群ようこ

編集者、家事手伝い、主婦、OL。女四人の日常を、ユーモアたっぷりに描いた痛快小説

勉強はそれから 象が空をIII

沢木耕太郎

ただの象は空を飛ばないけれど……。『方法』と真摯に格闘しながら書き、旅に暮らす日々

ずいぶんなおねだり

東海林さだお

江川紹子氏のB級グルメ度を鑑定、ナンシー関氏と通販を論ずる。解説・いとうせいこう

タンマ君⑦希望篇

東海林さだお

月日は廻れどタンマ君の美学は変わらない。優しく時には意地悪く人々の涙と笑いを誘う

話にさく花

小沢昭一

自称しゃべくり芸人の著者が徳川夢声の「話術」を説き明かすなど話題満載のエッセイ集

エチオピアからの手紙

南木佳士

文学界新人賞を受賞した「破水」など初期短篇五篇。当時を振り返る文庫版あとがき収録

臨死体験 上下

立花 隆

死に臨んで人が体験する不思議なイメージの世界を極限まで追究。大反響を呼んだ大著！

ホンダ神話

教祖のなき後で 佐藤正明

本田宗一郎、藤沢武夫なき後のホンダは、進むべき道を迷い始めたのか。解説は北方謙三

銀行 男たちのサバイバル

山田智彦

バブルの後始末に揺れる銀行で合併問題が急浮上。限られた役員の椅子を目前に男たちは

作家柏木太陽の推理

斎藤 栄

作家志望の柏木が川端康成ゆかりの越後湯沢と北斎晩年の地、長野県小布施で事件に遭遇

祖父東條英機「切語るなかれ」

増補改訂版 東條由布子

周囲の厳しい視線に晒されつつ生きた、東條英機元首相遺族の「昭和」とは。孫娘が語る

怒りの日

ラリー・ポンド 広瀬順弘訳

米武器査察団を乗せた飛行機がロシアで謎の墜落事故。それが悪魔の計画の始まりだった

100万分の1！

驚異の奇跡体験M1

リンカーンとケネディ戦慄の共通項。J・デインの呪われたポルシェなど驚愕の真実！

レーニンをミイラにした男

イリヤ・ズバルスキー／サミュエル・ハッチンソン 赤根洋子訳

死後二カ月たったレーニンの遺体はいかにしてミイラ化されたか？戦慄・異色のソ連裏面史

文 春 文 庫

花 く さ に 話

一 昭 沢 小



話にさく花・目次

いのち

メメシかった私／¹¹ いのち／¹⁵ 蒲田で出来上がった私／¹⁹
鎮守の森／²¹ 駄菓子屋の思い出／²⁴ 二十歳のころのわたし——
いとしさひとしお／²⁸ 男の美学／³³ 後姿のなつかしや／³⁵
小物礼讃／³⁸ 電車が江戸川をわたるとき／⁴⁰ フランス語と私／⁴²

あじ

おいしい味 懐かしい味／⁴⁷ 東京名物——意固地に、
ひっそり、つつましく／⁵³

はいく

バリ島句会／⁶¹ 好謔即十七字／⁶⁵ 老境俳句あれこれ／⁶⁸
『花すこし』『袖机』『良夜』——句集を手に戸板先生を偲ぶ／⁷²

げい

パリの屋根の下／⁸¹ 八人芸／⁸⁹ 困りましたなア／⁹²
「猿まわしは動物虐待」という意見がアメリカにあると聞いて／⁹⁵
まんざい・一九九〇／⁹⁹ アジアの見世物・縁日／¹³¹

対談「芝居、この面白くて、疲れる仕事！」北村和夫×小沢昭二／154

ほん

隠居「俳」優／181 『江戸切絵図と東京名所絵』の前口上／186
わが青春の一冊——『近代俳優術』／190

ひと

悔恨／195 矢野誠一さんの『落語歳時記』を読んで／199
江國滋さんの『日本語ハッ当り』を読んで／206

はなし

話術話芸の不徹底的研究 僭越ながらお坊様がたへ／217

あとがき——に代えて

この五十年は……／316

話にさく花

